

(問) 県に借金(県債残高)はどれくらいあるのですか?また、貯金(基金)はどれくらいあるのですか?

(答) 県の借入金の残高は、平成19年度末で約1兆2,581億円の見込みで、県民一人当たり約68万円( )になっています。

県としては、公共事業等の削減により県債発行の抑制を図ってきましたが、国の財政状況の悪化により地方交付税の分割払いとも言うべき臨時財政対策債が増発されてきたため、県債残高は増加しています。

また、県債の発行に対しては、臨時財政対策債を除き、プライマリーバランスを維持しながら、県債残高が増加しないように努めています。

なお、県債は、道路等の社会資本の整備を進めるに当たり、重要な財源であり、世代間相互の公平性の観点からも重要な役割を果たしています。

一方、貯金に当たる財政調整のための基金は、約53億円(平成20年度6月補正予算後)で、平成13年に財政健全化の取組みを開始した前の約56億円を下回っています。

( )国勢調査(H17.10.1)の県人口1,842,233人で計算しています。

## 県債残高と基金の推移

県債残高

(平成19年度は見込み)

(一般会計+公債管理特別会計へ入)

(単位:億円)

